

# 平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	1	担当部課名称	保健所衛生課
事務事業名	環境衛生関係営業施設等の許可等に関する事業		
見直しのタイトル	環境衛生監視員の確保		
添付資料 有無	無		

## 1 現状における課題

- ・環境衛生監視員に任命されている職員の数に限られていた（課員17名中6名）ことから、監視指導等を効率的に行えない状況になっていた。
- ・組織改正により、平成30年度に衛生課となったことにより、監視員の任命を拡げる等監視指導等を効率的に実施するため、環境衛生監視業務を行える人材を増やしていく必要性が生じている。

※衛生課課員の内訳

- 獣医師 6名(環境衛生担当1名、食品衛生担当5名)
- 薬剤師 6名(環境衛生担当4名、食品衛生担当1名、課長)
- 事務職 5名(環境衛生担当4名、食品衛生担当1名)

## 2 業務改善の趣旨及び具体的内容

### 【趣旨】

担当の垣根を越えて任命したうえで、研修への参加、監視指導への同行などを実施し、環境衛生監視員として業務を担える人材を増やす。

### 【具体的内容】

次の内容を実施し、実務を任せることのできる人材を確保する。

- ・環境衛生監視員の資格要件を満たす職員に担当の垣根を越えて任命する。
- ・県等が実施する環境衛生監視員研修を受講させる。
- ・環境衛生施設への監視指導に同行させ、実地経験を積ませる。

※環境衛生監視員の要件

- ①大学、高校、専門学校で、医学、歯学、薬学、獣医学、水産学、農学、工学、理学、保健衛生学の課程を修めて卒業したもの
- ②医師、歯科医師、薬剤師、獣医師
- ③国立保健医療科学院において課程を修了したもの

## 3 改善により期待できる効果

- ・柔軟かつ迅速な対応（非常時等含む）
- ・監視指導件数の維持、監視指導の質の向上

#### 4 実施スケジュール（概要）

4月	担当の垣根を越えた任命職員の見直し
4月～5月	資格を有する職員の掘り起し・新規任命
5月～2月	各種研修の受講（5月：環境衛生監視員研修基礎講座、2月：環境衛生監視員研修専門講座（神奈川県主催）を含む）

#### 5 実施結果の振り返り

平成30年度は、食品衛生担当の職員も含め14名に環境衛生監視員証を発行した。また、5月に開催された環境衛生監視員研修基礎講座を食品衛生担当の職員3名が受講した。

平成30年度については、緊急事態等が発生しなかったため、食品衛生担当の職員が環境衛生監視員としての業務を行うことはなかったが、次年度に専門職員の配置換えを行うことを見据えた取り組みは行えた。